

MonthlyTimes (H27.7月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

野球部、健闘及ばず、初戦敗退!

12日(土)、全国高校野球選手権和歌山大会1回戦で、智弁和歌山高校と対戦し、0-9(8回コールド)で敗れましたが、強豪の智弁和歌山に対し、先発の1年生中島は変化球を織り交ぜ、緩急のある投球で3回まで無得点、1安打に抑えました。しかし、中盤以降は浮いた球をとらえられた。打者は積極的に振っていったが、連打が出ず無得点に抑えられました。

「1年生だからとなめられないよう、気合いで投げた」と中島。だが、四回には、二塁打を含む安打4本と犠飛で2点を奪われた。さらに続く1死一、三塁のピンチにマウンドを引き継いだのも1年の仲。この回はスクイズで1点を追加されたが、五、六回の守りでは、やはり1年で遊撃手の中岡が打球をうまくさばいて2併殺を奪った。仲も「九回まで投げられるスタミナをつけたい」と将来の再戦を望んでいた。

吹奏楽部、体操部、一般生徒らで組織された総勢約80名の応援団も猛暑の中、懸命の応援を続けました。また、試合後スタンドの清掃を徹底して行うなど、マナーも他校に引けを取りませんでした。グラウンドで強豪の智弁和歌山に精いっぱい挑戦した選手諸君の戦いぶりは涙刺としてすばらしかったですが、それ以上に最後まで一体感のある応援をし続けた有志の応援団はよりすがすがしい気持ちにさせてくれました。



一学期終業式

24日(金)、まず表彰伝達で以下の生徒が表彰されました。

土井沙耶佳(3年) 県春季陸上競技大会 400mH第1位、100mH第3位
県総体陸上競技の部 400mH第1位、100mH第2位
県陸上選手権大会 400H第1位(大会新記録1分04秒09)

堀智也(2年) 第39回高校囲碁選手権和歌山大会個人戦B級優秀賞
池永祐己(3年)他6名 農業クラブプロジェクト発表・文化・生活の部最優秀賞

一学期の終業式が行われました。河本校長は式辞で、なでしこジャパンの佐々木監督の言葉を紹介し、『選手が成長するかどうかは、技術や知識ではなく、決意が本物かどうかで決まるものだ』という言葉から、なでしこと言えども多くの選手が昼間働いて練習できるのは夜だけという厳しい環境で自分の夢の実現のため純粋にがんばっている選手が多い。彼女たちの生き様に本物の決意と覚悟が感じられる。『なでしこジャパンの選手はいつだってよく笑う、特に平常心を失いがちな場合こそ、笑うことで頭をクールダウンさせることができるのだ。』から、自分を成長させるために、希望を持ち、常に心は熱く大切な時には平常心で冷静に対応することが、目標の実現に近づくのだ。と前向きにがんばることを忘れず夏休みを過ごすよう語られました。

次に生徒指導部長の竹中先生より「夏休みの過ごし方、身の周りに潜むネット社会、さまざまな事故の危険性」についてプロジェクターを使いながら、ちょっとした油断から自分の人生が変わってしまわないよう話していただきました。



系列NEWS

☆農業系列 県農業クラブ大会で最優秀賞に



22日(水)、23日(木)に田辺市で、平成27年度和歌山県学校農業クラブ連盟大会が開催されました。大会ではグループによる「プロジェクト発表」と、個人による意見を述べる「意見発表」の2部門に分かれます。

本校からは、「プロジェクト発表・文化・生活の部」に3年生の池永祐己君他6名が出場し、日頃の取組の成果について発表しました。内容はもちろん、発表の態度等も高く評価され、プロジェクト発表・文化・生活の部では最優秀賞を獲得しました。

池永祐己君たちは、8月19・20日に滋賀県で行われる近畿大会に出場します。

プロジェクト発表 最優秀賞

『高校生校内模擬カンパニー「アグリ☆スマイル」～私たちは本気です地域活性化～』

3年 池永祐己(4組) 竹中泰喜(4組) 坂下皓規(5組) 宮本航希(1組)

2年 最田涼巴(5組) 望月優花(5組) 角田裕哉(6組)

☆家庭系列 保育所実習で学ぶ

29日(水)から31日(金)の3日間、家庭系列・保育コースの2年生7名が有田川町内の田殿・御霊・藤並の3保育所のご協力により、実習に臨みました。3年前から行われているもので、実習を通して、保育士という職業に対する理解をより深めることを目的とします。

生徒達は、職員の方々の指導を受けながら、実習に取り組むなかで、仕事の大変さや難しさを実感すると同時に、楽しさや、やりがいも感じとれたようです。また、実習後、職員の方々から評価をいただきましたが、自分の課題について向き合える機会ともなりました。「大変だけれど絶対に保育士になろうと思った」と、ある生徒の感想です。今後の学習に活かして欲しいものです。



